

第 2 回総合計画審議会 委員意見の対応状況整理表（事務局回答案）

①「反映済」、②「現実的で修正対応するもの」、③「答申案に反映し今後検討するもの」

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
戦略的指針	1. [村林会長] バックキャスティングでやるなら、産業プロジェクトの目標も「2045 年に 5,000 人の人が食べていける姿」を据えるべき。 ※別添追加資料参照	②	【計画反映】 ・「戦略的指針で示す 2030 年～2045 年のめざす姿」と「戦略的指針・到達の目安（ロードマップ）」で明記 ・各重点プロジェクトの「まちづくりの目標」に委員意見を踏まえ内容を検討し反映。	・戦略的指針に到達の目安として設定する一方、各重点プロジェクトの「まちづくりの目標」に 20 年後の姿をイメージした文言を明記する。 ただし、「まちづくりの目標」において 20 年後の各プロジェクトの達成した姿を示したうえで、プロジェクトの 4 年後の達成が分かる表現とする方向で検討する。 【文言については現在検討中】
1. 活力ある産業・経済プロジェクト	1. [青柳委員] 人口 5,000 人規模における自治体経営のストーリー（収支見通し）を町民へ分かりやすく提示すること。	②③	【計画反映】 総合計画（健全な自治体経営・未来投資プロジェクト）に追記。 【答申反映事項】 答申本文第 1 項に包含	総合計画に「人口が 5,000 人規模へと縮小していく未来を見据え、町の「家計構造（財政の見通し）」を分かりやすく提示します。地方交付税等の仕組みや将来の収支見通しをオープンに共有することで、将来への不安を解消します。限られた財源を最大限に活かし、持続可能な行政経営を維持するための確かな展望を町民と共に構築します。」と明記
	2. [田中委員] 釣り堀等への年間 5～6 万人の来訪者がコンビニ弁当持参で帰っている現状を打破	②③	【計画反映】 総合計画（活力ある産業・経済プロジェクト）に追記。	総合計画に「・「海業」や「まちじゅうどこでも産直市場」（仮称）を核に、釣りやレジャーで訪れた皆さんが、そのまま町内の飲食店や商店へ足を運び、南伊勢の魅力

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
	し、町内消費へ繋げる仕組みが必要。		【答申反映事項】 答申本文第2項に包含	を堪能できる「巡って味わう仕組み」を整えます。一過性の観光で終わらせない「町全体でファンをもてなす経済の循環」を創り出し、一次産業の稼ぐ力を高めます。」と明記
	3. [田中委員] 跡継ぎ不在で取り壊される旅館や旧郵便局を「文化的資源」保存・活用する仕組みを。	③	【答申反映事項】 答申別紙第2項に包含	答申案に「あわせて、歴史的・文化的価値のある建物については、単なる空き家（不用品）ではなく、次世代へ繋ぐべき「地域の資産」と再定義すべきです。町は直接的な資産保有のみに頼るのではなく、官民で知恵を総結集し、多様な財源（外部資金の活用等）の確保も含め「次世代へ引き継げる方策」を検討することを求めます。」と追記
	4. [島本委員] 人を増やすだけでなく、既存の事業所が「稼げる」よう法人化や共同体化を、中小企業診断士等の専門家が伴走支援すべき。[cite: 435]	②	【計画反映】 総合計画（活力ある産業・経済プロジェクト）に追記。 【答申反映事項】 答申別紙第1項に追記	・答申案に既存産業の稼ぐ力を高めるための「法人化支援」や「専門家による伴走的サポート」をプロジェクトの具体策へ追記する。 ・総合計画に「県のスタートアップ支援や中小企業診断士の派遣制度などを活用し、町の水産業・農業者の法人化や共同体としての組織強化、専門家による継続的な伴走的サポートを行い、次世代へ継承可能な経営基盤を確立します」と追記

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
	5. [島田副会長] 地域の歴史に根ざした小規模な産業をもうちょっと未熟の子供（＝町の大切な宝）として応援してほしい	①	【答申反映済】 答申別紙第7項に反映済	「役場（行政）と町議会（立法）が住民の切実な意見を直接聞き、そこから得られた気づきや提案を町の改善に生かすことを求めます」と記載済
	6. [木下委員] 神棚の「茅（かや）」など、民間の新しい稼ぐ動きを財政・財源に結びつけていかねばならない。	①	【計画反映済】 活力ある産業・経済プロジェクトにおいて記載済	「観光・水産・農業など分野の垣根を越え、地域資源を掛け合わせた「新たな仕事の形」を創出します。[中学生提言]」と記載済
2. 安全安心のまちプロジェクト	1. [島田副会長] 法的・財政的に「手がつけられない空き家」が急増している現実を直視し、現行制度（特定空き家認定等）を超えた実効性のある新スキームを検討すべき。	③	【答申反映事項】 答申別紙に追記	「空き家対策と防災との連動」に「弁護士等の専門家と連携した処分スキームを検討」を追記
	2. [白髭委員] お耳の遠い高齢者が緊急放送や来客のインターホンに気づけない。ボタンを押すと室内でランプが光る設備などへの助成を検討してほしい。 ※別添追加資料参照	②③	【計画反映済】 総合計画（安全安心のまちプロジェクト）に追記。 【答申反映事項】 答申案に反映（答申本文第3項の「包括的な地域ケア・支援体制」）	総合計画に「・お耳の遠い高齢者や障がいのある方も、屋内ランプ等の「目から受ける情報」や「地域の絆」により、誰一人逃げ遅れることなく避難できる体制の整備を目指します」と追記 また、屋内ランプ等の設置に関しては、1万円以下の機器という実態から金銭的な課題というより、人的な課題が大きいと判断します。購入費用の補助といった金銭的支援ではなく、「機器の設置」や「定期的な

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
				電池交換」を担う人がいないという「人的な課題」を最重要事項として捉え、答申案の「包括的な地域ケア・支援体制」に記載します。
	3. [小林委員] 過去の津波記録だけでなく、東北地方のように「ここまで津波が来る」という想定高を電柱等に視覚的に表示し、啓発を徹底すべき。	①	【計画反映済】 施策において記載済	既に、一部箇所では実施済であることから、対応を検証し、施策実施の認識を高めるためにはさらにどのようなことが必要か検討します。
	4. [濱口委員] キャンプ客等の関係人口が増える中、いざという時に「訪れた人」も迷わず行動できるよう、地域ぐるみの防災対策と連携が必要。	①	【答申反映済】 答申別紙第2項に反映済	ソフト面での防災意識と地域間連携の強化において宿田曾の先進事例とともに明記。

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
子育て応援プロジェクト	1. [西岡委員] 内容に照らし、「子どもも主役のまちづくりプロジェクト」といった、子供の主体性を象徴する名称に変更すべき。	③	【答申反映事項】 答申別紙に反映済	ご提案いただいた『子どもも主役のまちづくり』という視点は、山本委員からもご指摘のあった『成功体験を通じた郷土愛の醸成』を象徴する、大変重要なキーワードであると深く認識しております。 本町の計画体系におきましては、基本構想のまちづくりの柱として「町ぐるみで全力で応援してめざす『子育て応援日本一』のまち」を掲げ、これを受ける形で重点プロジェクト「子育て応援プロジェクト」を位置づけております。この基本構想は令和11年度までを期間とし、原則修正を行わないものとしております。 こうした計画体系との整合を踏まえつつ、いただいたご意見の趣旨である「子供の主体性の尊重」を取り込むため、重点プロジェクト名を「子育て・子どもの育ち応援プロジェクト」へと改めることといたします。 この名称は、

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
				「子育て」…子育て世帯を町ぐるみで応援し、若者定住・移住の促進にもつなげる視点 「子どもの育ち」…子供たち一人ひとりの成長と主体性を、町全体で支え応援する視点 という両輪を表すものであり、基本構想の柱「子育て応援日本一」の理念を継承しながら、子供の主体性を尊重する視点を加えたものでございます。 運用面におきましては、子供たちの主体性を尊重する形（丁寧なフィードバック、提言内容の尊重、教育施策における子供が主役の視点の尊重など）を優先してまいります。 そして、この4年間で積み上げる『子供が実際に町を変えた』という実績を確かな根拠とし、次期の基本構想検討においては、子供をまちづくりの主役として再定義する名称への変更も、重要な検討事項として継承させていただきます。
	2. [玉山委員] 特定の競技への単発予算に偏らず、全競技を対象	③	【答申反映事項】 答申本文第1項に包含	特定の活動への単発投資に偏らず、地域教育・スポーツ環境全体を公平かつ持続可能にそこあげる仕組みの検討を明記

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
	とした日常的な指導者確保やケガ防止を公平に支援すべき。			
	3. 【白鬚委員】 子供たちの提言を「言いつばなし」にさせず、役場から「こう反映した」と目を合わせて回答を返す機会を保障すべき。	③	【答申反映事項】 答申本文第4項に包含	子供の主体的参画を促すため、提言に対する「丁寧なフィードバック（対話の機会）」を確実に保障することを明記。 （例：フィードバックの機会については今後検討）。
	4. 【山本委員】 人口が減っても学びの場の環境整備は最優先。役場協力の「水産教室」のような、働く人と触れ合うキャリア教育をさらに充実させてほしい。	① ③	【計画反映済】 総合計画（輝きを持てるまちプロジェクト）に「地域の人材・教材を活用した体験学習・キャリア教育の充実」として明記済。 【答申反映事項】 答申別紙第3項に包含	・重点5輝きを持てるまちプロジェクトにおいても「多様な人材循環と交流の拡大（関係人口の創出）」で反映済み ・答申案において「関係人口との交流に加え「お魚マイスター」など町内在住の専門人材を教育現場へ積極的に登用し、地域全体で子供たちを育てる環境を整えること」と明記
	5. 【小林委員】 町内には「お魚マイスター」や「お魚博士」などの有資格者がいる。こうした優れた人材を教育の現場で積極的に活用すべき。	③	【答申反映事項】 答申別紙第3項に包含	・答申案において「関係人口との交流に加え「お魚マイスター」など町内在住の専門人材を教育現場へ積極的に登用し、地域全体で子供たちを育てる環境を整えること」と明記
誰もが元気なまち	1. 【奥村委員】 高齢者が収集場所までゴミを運べない実態は極めて深刻。夏場の衛生面も考慮し、既	②③	【計画反映】 総合計画（活力ある産業・経済プロジェクト）に追記。 【答申反映事項】	・総合計画において「高齢化に伴う「日々のゴミ出し」や「移動手段の確保」といった日常生活基盤の維持に関しては、単一の担当課の枠組みを超え、関係部局や社会福

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
	存ルールの見直しを含めた具体的な解決策を早急に提示すべき。		答申本文第3項に包含	祉協議会、地域コミュニティ（区長会等）が一体となった「持続可能な生活環境維持・支援体制」を迅速に構築し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整えます。」と明記
輝きをもてるまち	1. 【池山委員】 町内の素晴らしい活動を町民自身が再認識し、情報が還流する仕組みが不可欠。外部の「褒め言葉」を住民の誇りに変えるべき。	①	【答申反映済】 答申別紙第5項に反映済	
	2. 【玉山委員】 民間の行事と重ならないよう、行政の年間行事予定を2～3月前にはHPで一元的に開示してほしい。			【総合計画外の内容として対応】 部署横断でイベント情報を早期集約し、一元的に共有・発信できる体制を検討する。
	3. 【池山委員】 関係人口に「何をしてもらうか」だけでなく、南伊勢町が彼らに「何を与え、何を提供できているのか」を問うべきである。自分たちでは気づきにくい町の魅力について、既に町に関わっている外部人材と意見交換を重ね、何が本当の魅力なのかをしっかりと考え抜く必要がある	③	【答申反映事項】 答申別紙第5項に包含	答申案に「単に関係人口に「何をしてもらうか」に偏らず、外部人材に対して町が「何を提供できているか」を双方向に意見交換し、客観的な視点から町の潜在的力を再定義すること。」と追記

重点プロジェクト	委員の主な意見・提言（要旨）	対応方針	事務局の回答案・対応方針	備考
	4. 【濱地委員】 一人で抱え込まず、『井戸端会議』のように気軽に相談し合える場を何よりも大切。日々の暮らしの基礎となる『底辺の部分』は、まず自分たちで取り組むという自立した共助の姿勢を堅持しつつ、地域だけでは乗り越えられない『壁』については、行政や社協が責任を持って踏み込んで支援するという、適切な役割分担が大切	③	【答申反映事項】 答申本文第3項、別紙第5項に包含	・ 答申案において「高齢化における「日々のごみ出し」や「移動手段の確保」などといった日常生活の維持に関し「包括的な地域ケア・支援体制」を部局横断で迅速に構築」することを明記 ・ 答申案別紙において情報の循環モデルに「いわば井戸端会議のように」の文言を追記
健全な自治体経営・未来投資	1. 【青柳委員】 町を運営していく上での「お金の流れ」を見えるようにできないか	③	【答申反映事項】 答申本文第1項に追記	答申案において「地方交付税等の財政構造の仕組みを踏まえた「人口減少下における自治体経営のストーリー（お金の流れと町の家計構造の見通し）」を町民に分かりやすく提示し、将来への安心感を担保すること」と追記
	2. 【池山委員】 町全体だけでなく、五ヶ所や阿曽浦といった地区単位、さらにはもっと小さな集落単位で「自分たちで決める」仕組みを大切にすべき。	③	【答申反映事項】 答申本文第7項に追記	・ 答申案において「一律の行政モデルに依存せず、地区や集落といったそれぞれの規模（スケール）に応じた「主体的決定」の仕組みづくり（まちづくり協議会等）と重点投資」について追記